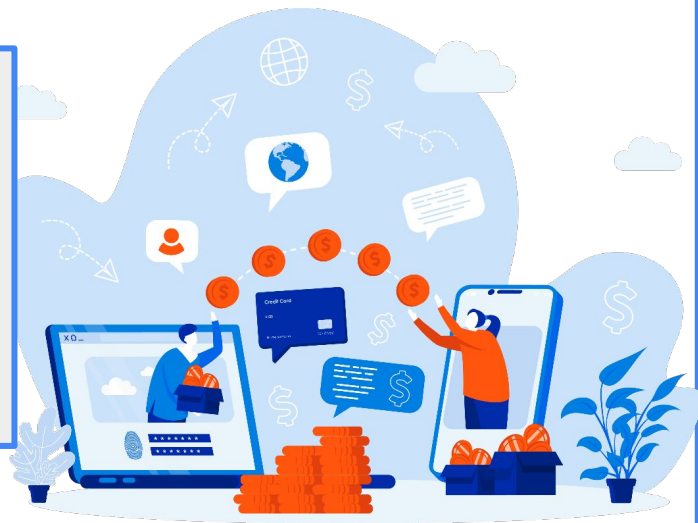


フリーランス
×
サラリーマン節税講座



節税対策とは

POINT

制度を利用して支払う税金を抑えること



サラリーマンのための節税対策がある

利用していない人はチェック

- 積み立てNISA
- iDeCo
- ふるさと納税
- 青色申告控除・副業損益合算

積み立てNISA(少額投資非課税制度)

POINT

一定の金額までの投資が非課税となる制度

投資信託や株式などの金融商品を購入する際に、所得税や配当税が非課税になります。

非課税期間：**最長20年間**

非課税枠：**年間40万円**

対象者：**日本国内に居住する20歳以上の個人**

新NISA(少額投資非課税制度)

POINT

一定の金額までの投資が非課税となる制度

投資信託や株式などの金融商品を購入する際に、所得税や配当税が非課税になります。

非課税期間: **無制限** (20年から無制限)

非課税枠 : **年間360万円** 40万円から**320万円UP**

最大利用額: **1,800万円** 800万円から**1,000万円UP**

毎月一定額を積み立てることで、運用益が非課税

非課税期間:運用期間全体(受取時に所得税がかかりますが、
税率が低くなることが多い)

非課税枠 :年間上限額は年収や年齢によって異なります

対象者 :原則、日本国内に居住する個人

掛け金(積立金額)は所得控除の対象

iDeCoの具体例

POINT

公務員 A子さんの場合



年齢	27歳
年収	500万円
毎月掛金	1万2,000円
全額年間所得控除	14.4万円

節税効果
(年間)

2万8,800円

会社員 B男さんの場合



年齢	35歳
年収	650万円
毎月掛金	2万3,000円
全額年間所得控除	27.6万円

節税効果
(年間)

8万2,800円

自営業 C太さんの場合



年齢	43歳
年収	800万円
毎月掛金	6万8,000円
全額年間所得控除	81.6万円

節税効果
(年間)

26万9,280円

引用 : <https://dc.rakuten-sec.co.jp/>

クレカの利用でポイントが貯まる

- 楽天証券
- SBI証券

積み立ての利益に加えてクレカの**ポイント分**お得

来年度所得税・住民税を前払いして返礼品を受け取る

年収500万円の会社員の場合

2023年 住民税**24万円4,400円** ふるさと納税**6万円分**

来年度の住民税が**18万6,400円**になり
5万8,000円 (2,000円自己負担を除く)割引される

青色申告で開業すると65万円の控除

確定申告の必要があるが経費が使える。

本業以外の収入が20万円以上あるのなら青色申告で副業でも開業するのがおすすめ

本業の収入と副業経費を合算

POINT

本業の年収から損益を合算できる

年収500万円の場合 **500万円に課税**

年収500万円＋副業100万円－経費200万円
＝**400万円に課税**